

CONTENTS

 ガバナーメッセージ Sequence
01

 職業奉仕月間に因んで Sequence
02

 クラブ紹介
[真岡RC]
[真岡西RC]
[益子RC] Sequence
03

 ポリオ撲滅キャンペーン
報告/益子RC Sequence
04

 第28回
親善野球大会開催報告 Sequence
05

 RLIパートII 報告 Sequence
06

 新入会員/お知らせ Sequence
07

 コーディネーターニュース Sequence
08

 2025年11月会員数報告 Sequence
09
Sequence
01 ガバナーメッセージ

親愛なるクラブ会長の皆様へ

～ 新年のご挨拶 ～

新春を迎え、地区内ロータリアンの皆さまには、希望に満ちた佳き新年をお迎えのことと、心よりお慶び申し上げます。

また、日頃より地区運営に対し、深いご理解と温かいご支援を賜っておりますことに、改めて厚く御礼申し上げます。

本年度のフランチェスコ・アレツォ国際ロータリー会長メッセージは、

「よいことのために手を取りあおう — UNITE FOR GOOD —」です。

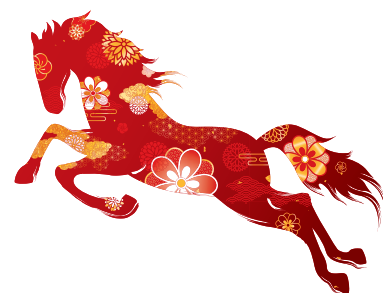
世界が複雑さを増し、不確実性が高まる今こそ、私たちが手を取り合い、ロータリーの理念を行動で示すことで、地域社会、そして世界に新たな希望を生み出す原動力となると確信しております。

これまで地区内各クラブは、青少年育成、米山記念奨学事業、国際奉仕、地域災害支援、さらにはポリオ根絶への継続的な取り組みなど、多岐にわたる奉仕活動を着実に実践してられました。

これら一つひとつの活動は確かな「点」となり、やがて「線」として結ばれ、未来へと続く大きな力となって地域社会を支えていくものと信じております。

本年は、各クラブの自主性を尊重しつつ、地区チームとして

1. クラブ支援の充実
2. ロータリーの魅力発信
3. 会員増強と退会防止
4. 次世代リーダーの育成



この四本柱を重点目標として、取り組みを進めてまいります。

変化を恐れず、新たな挑戦に果敢に踏み出すことこそが、未来のロータリーを形づくる第一歩であります。

結びに、皆さまお一人おひとりの一年が健康と喜びに満ち、奉仕の心がさらに広がる年となりますことを心より祈念申し上げ、新年のご挨拶といたします。

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。



R.I.D. 2550 tochigi
Facebook QR

国際ロータリー第2550地区
ガバナー 二十二 修 (宇都宮北ロータリークラブ)

Sequence

02 職業奉仕月間に因んで

ロータリークラブをもっとも単純な一言で言うとは何ですか?と問いかけた場合、「奉仕団体」という答が、一般の人たちだけではなく、ロータリアンからも返ってくると思います。そこで「奉仕」の意味をどう考えるかです。

私は、奉仕とは「できるだけ人や社会の役に立とうと努力すること」という意味で使えば良いと考えています。そのことへの対価を求めるのは職業人として当然です。「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる。」というシェルドンの言葉の意味が、最近になってより深く理解できたような気がしていますが、シェルドンは「職業は社会に奉仕する手段である。」という言葉も残しているようです。同感です。これこそが職業奉仕を端的に表していると思います。私は「職業とは人の役に立って生活の糧を得ること」と定義したいと思います。まさしく生業です。

職業奉仕活動は団体ではできません。会員ひとりひとりが自分の職業活動を充実させていくことが職業奉仕です。そのために例会に出席し、卓話を聞き、時には自分が卓話者になり、出席者と会話を交わす。社会奉仕活動や親睦活動などにも参加する。これらは全て会員自身のためです。そう考えると、ロータリー生活がより楽しめると思います。

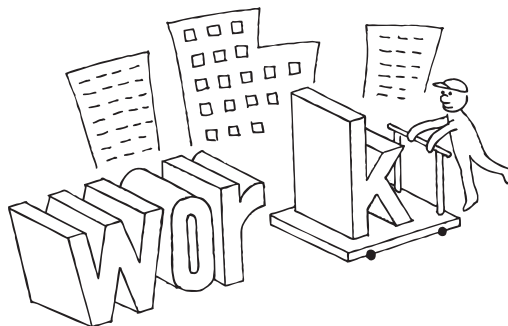
以上、私の個人的な思考を職業奉仕月間に因んで述べさせていただきました。職業奉仕についての会員ひとりひとりの思考を明解にしていきたいと願います。その一助となることを願ひまして、2026年1月18日にセミナーを開催いたします。

多くの会員のご参加をお待ち申し上げます。



国際ロータリー第2550地区
職業奉仕委員長

田中 正夫 (宇都宮南RC)



[真岡ロータリークラブ]

「老人・身障合同スポーツ大会」は、真岡市老人クラブ連合会と真岡市身体障害者福祉会が主催し、長年にわたり地域住民の交流と健康づくりを支えてきた、真岡市を代表する行事の一つです。真岡ロータリークラブは共催としてこの大会に深く関わり、運営補助や会場整備、参加者のサポートなど、幅広い面で協力しています。〔写真①〕

当日は、競技の準備や誘導だけでなく、当クラブ会員自身も競技に参加し、参加者の皆さまと一緒に身体を動かしながら大会を盛り上げています。年齢や障がいの枠を越えてスポーツを楽しむ姿は、地域に根ざした大会ならではの温かさに満ちており、会員にとっても大きな学びと喜びの場となっています。

また、真岡ロータリークラブの恒例となっている豚汁提供では、会員が早朝から協力して仕込みを行い、約1,000人分の温かい豚汁を用意します。心を込めて作った豚汁は「毎年楽しみにしている」「体が温まるよ」と多くの参加者から好評をいただき、会員一同の励みとなっています。豚汁を囲んで交わされる会話や笑顔は、大会の魅力を一層引き立てる大切な時間です。〔写真②〕



写真②

この大会を通じて、ロータリーの奉仕理念である「超我的奉仕」を実践し、地域の皆さまとともに支え合う社会づくりの重要性を改めて感じることができます。主催団体の皆さまの熱意と努力があってこそ成り立っている行事であり、その一翼を担わせていただけることに深い感謝と誇りを抱いております。

これからも真岡ロータリークラブは、地域に寄り添う奉仕活動を継続し、より多くの笑顔が生まれる場づくりに力を尽くしてまいります。本大会で得られた交流の輪や温かなつながりを、今後の活動にも生かし、地域の未来を共に支えていく所存です。〔写真③〕

皆さまのご理解とご協力に心より感謝申し上げます。

真岡ロータリークラブ

2025-26年度会長 柳田 尚宏

幹事 坂本 光



写真③

トップページへ
戻ります



[真岡西ロータリークラブ]

真岡西ロータリークラブでは、今年で42年になります。現在39名の会員で活動をしています。当クラブの特徴として会員相互の親睦事業が充実しています。家族の協力のおかげでロータリー活動ができると思いますので、家族と一緒にロータリーを楽しむために、毎年夏には二宮地区の花火大会に多くの家族とともに参加見物をしています。また、秋の月見宴会やゴルフ等家族が参加できる活動をたくさん行っています。また本年度は、大阪万博に多くの会員とその家族共に行き楽しむことができました。

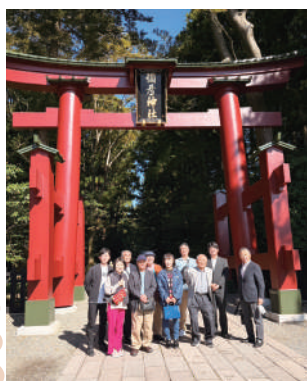
各事業としましては、市内にある児童養護施設の子供達と交流し（サッカーや河川のごみ拾い等）また施設への備品の購入のための寄付などを行っています。

ポリオ関係では、継続をしてエコキャップの回収を行っています。市内各小中学校にお願いをして、エコキャップの回収箱を設置して定期的に会員企業で回収をしています。また真岡市の商工会議所が主催している産業祭でも専用のブースを出店しエコキャップの回収をしています。ポリオ撲滅まで頑張りたいと思います。

当クラブ主催の真岡西ロータリー杯中学校女子バレーボール大会も40回以上も継続をしています。毎年参加校が増え、嬉しく思います。過去の大会に参加された中には、大人になり全日本に選ばれオリンピック出場した選手もいます。バレーを通じてスポーツの楽しさ、友達との絆、他人を思いやる心が生まれると思います。

当クラブでは現在39名ですが、今後会員の高齢化や会社の都合による退会等で会員数が減少の恐れがありますので、退会防止とともに会員全体で新規会員増強を目指しています。

これからも会員一同ロータリーを楽しめるよう運営してまいります。



真岡西ロータリークラブ
2025-26年度会長 池田 富雄
幹事 秋山 康雄



[益子ロータリークラブ]

益子RCは、1979年6月10日の創立。スポンサークラブは真岡RC、創立20周年を迎えた真岡RCの記念事業でした。創立会員は32名、内7名は真岡RCから移籍してきました。

創立20周年には、会員数も最多の54名を数えました。地域柄、会員に陶芸家、工芸家もあり、特有の雰囲気を持っていました。益子焼の登り窯を意匠とした「クラブバナー」は、染色家、日下田博会員によるものです。

例会場は「益子カントリー倶楽部」、クラブハウスからの四季折々の景観は、会員はもとよりメーカーの方々の方々の心を和ませ、ゴルフは、親睦・友情を深めました。

1982年、「野球部」を結成、地区大会等で活躍。1985年、第3回全国RC野球『甲子園大会』、対戦は「大船渡RC」、翌年のRC野球『神宮大会』では、「大船渡西RC」と対戦。そして、2011年の『東日本大震災』、野球が縁の「大船渡」との友情、避難施設の必需品「食器：益子焼」「米」等、トラックに満載で届けました。

第4グループの「真岡RC」「真岡西RC」「しもつけRC」も参加。支援物資を届けた大船渡の波止場、双方のロータリアンが輪になり唱和した「手に手つないで」は忘れられません。

陶の里、益子ならではの活動に、益子・茂木の小中学校：特別支援学級の児童・生徒を対象とした「陶芸教室」があります。益子焼伝統工芸士の協力のもと、ろくろ・手びねり・絵付けを体験、焼成された作品は、一般公開の後、作り手に届きます。参加者は、創作の喜びを満喫、将来その中から「陶芸家」が誕生する予感がします。また、「益子RC杯少年サッカー大会」も益子町及び近隣の小学生を対象に開催。どちらも40回近く継続している奉仕活動です。

近年の活動では、「R財団地区補助金」を活用し、会員の労力奉仕～田植え・稲刈り～の下、休耕田を利用した「とちぎの星」の新米を、益子・茂木・市貝町の社会福祉協議会及び「こども食堂」に、それぞれ新米（玄米）15袋（450キロ）を寄贈しています。「令和の米騒動」の最中、好評を博しています。

3年後には50周年を迎える益子RC。10周年ごとに記念誌『陶々と』を発行、奉仕の歴史を記してきました。「陶」～すえもの・益子焼～『陶々と（ようようと）』の意味は、“和らぎ楽しむさま”ともに従いゆくさま”そして“長大なさま”「益子RC永遠に！」とのメッセージでもあります。

第30代会長 平野 良和



益子ロータリークラブ
2025-26年度会長 高根澤 良一
幹事 小幡 正之

トップページへ
戻ります



Sequence

04 ポリオ撲滅キャンペーン活動報告

益子RC ポリオ撲滅キャンペーン報告

第2550地区R財団ポリオプラス小委員長
益子RC財団委員長 藤原 郁三

「怪我の巧妙による広がり」

当クラブのポリオキャンペーンは、毎年「益子RC杯少年サッカー大会」に合わせて実施していました。ところが急遽、思わぬことで中止になってしまい、地区のポリオプラス小委員長でもあるため、何とか別の方法で実施しようと衆議一決で、益子RCエリア内の3町(益子・茂木・市貝)の道の駅で実施することに変更しました。

10月25日(土)午前10時から茂木町の道の駅、11時から市貝町道の駅で、昼食を挟んで午後1時から益子の道の駅で呼びかけました。

初めは、不特定多数の人々を相手に多少のとまどいがありましたが、流石、地元だけに知人にも多く遭遇し、募金も頼みやすかったです。



その勢いで、人の集まるところで出来るだけ実施しようということになり、11月9日(日)会員である佐藤浩理事長の(社)益子のぞみの里福祉会が経営する「美里学園祭」でも行いました。当日はあいにくの雨でしたが、佐藤理事長の挨拶では、ポリオキャンペーンのことを説明していただき、バックアップしてくださったので大変助かりました。

そして最後に11月15日(土)の「益子町民祭り」の会場でも実施することができました。毎年、益子町地域間交流協会が北海道の雄武町との交流の一環で、雄武町の特産物を販売するブースを受け持っているのですが、そのブースの一角で行いました。幸いこの会には、私も含めて数人のロータリアンが関わっている為実現できました。また、海産物販売の手伝いに来ていたロータリアン以外の方達からも、募金のお願いをしてくれましたので、大いに助かりました。

この様に、短期間の内に計5回もキャンペーンを実施でき、サッカー大会は中止になりましたが、「怪我の巧妙」でしょうか、合計86,827円も集まりました。感謝です。

今回のキャンペーンで、地域の人達に「ポリオ撲滅運動」のことを少しでもアピールできたことが何よりの成果だったと思います。これからも、今回の経験を生かして「ポリオ撲滅キャンペーン」を継続できればと思います。

Sequence

Sequence
05 第28回 親善野球大会開催報告

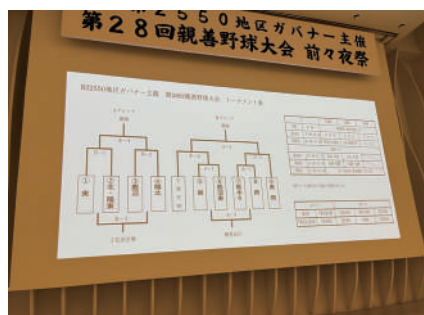
令和7年11月16日、ガバナー主催の親善野球大会が開催されました。また、その2日前の11月14日に前々夜祭も開催されました。今回、ホストクラブとして私達宇都宮90ロータリークラブが幹事役を務めさせていただきましたので、ご報告させていただきます。

7月に大会開催のご案内をしたところ、11クラブ10チームの参加申し込みをいただき、9月19日に代表者会議をベルヴィ宇都宮にて行いました。この時は、二十二ガバナーおよび各クラブの代表者の方を含めて計38名にお集まりいただき、運営の方法等についての確認をさせていただきました。

そして、11月14日に代表者会議と同じくベルヴィ宇都宮にて前々夜祭を開催いたしました。参加者数73名。この日は、高橋ガバナーエレクトにお越しいただき主催者挨拶をいただきました。また、各チームの代表の方が、3～13名とご出席いただき盛大に開催することが出来ました。予算の都合で、華やかなアトラクションは出せませんでしたが、AIによるオープニング動画、またくじ引きに加えてストラックアウトを取り入れた抽選等、工夫を凝らして、会を盛り上げるよう努めさせていただきました。参加者の皆様のおかげで、滞りなく前々夜祭を終える事が出来ました。



代表者会議ガバナ－挨拶



前々夜祭抽選結果

[illegible]

試合結果



表彰式整列



表彰式全体

11月16日大会当日は、素晴らしい秋晴れの下、鹿沼市のヤオハンいちごパークにて開催できました。天気さえ良ければ、あとは何の心配もありませんでした。残念ながら真岡RC様が、欠席者続出の為に棄権となりましたが、その他の9チームで熱戦を繰り広げていただき、大差の試合も中にはありましたが、接戦も多く、緊張感あふれる大会となりました。手配した弁当の数は200個でした。これだけ多くの方に来ていただけたんだと改めて思います。結果的には、Aブロックは宇都宮陽北RCチーム、Bブロックは栃木第6Gチームが優勝されました。表彰式は大矢ガバナーノミニ一の挨拶、そして市田大会顧問の総評をいただきながら、和やかに行われました。

大会の準備段階から最後まで、長大会会長には大変お世話になりました。そして、試合会場や審判の手配をしていただいた鹿沼RC様のサポートなしでは開催も難しかったと思われます。そして、我が宇都宮90RCも山本会長の下、最後は一丸となって運営することができて、クラブの一体感を感じられた大会にもなりました。その辺りも含めて、次回のホストクラブを引き受けていただいた宇都宮陽東RC様に、しっかりと引継ぎしたいと思います。協賛なども含めて、参加していただいた全ての皆様に感謝して、報告とさせていただきます。

野球部 監督(大会実行幹事)
林 紀尚 (宇都宮90RC)

[トップページへ
戻ります](#)

Sequence

06

RLI パート II 実施報告



2025年11月30日にホテルニューイタヤにて、ロータリー・リーダーシップ研究会(RLI)パートIIの研修会が行われ、今回2550地区のメンバー17名に参加していただきました。RLIは基本的にパートIからパートIIIまであり、今年度、第一回目としてパートIを8月24日に行いました。そして、今回は、パートIIを行い、パートIIIを来年4月5日に開催する予定です。そして、パートIからパートIIIまでの卒業生を対象に卒後コースまで、今年度中に行えればよいかと思っております。

今回のパートIIは、50分で一つのテーマをディスカッションしていただき、一日で6つのテーマを学習していただくので、一日6時間授業となります。皆さん、学生の時には、一日で6時間受けていたかもしれませんが、卒業してからは、なかなか、丸一日かけて6時間授業を受けることはないのではと思います。そこでも、皆さん頑張って活発な意見交換ができていました。

本来RLIは、研修を行うことにより知識を得、また、他クラブの人たちとディスカッションを行うことにより、他のクラブでは、どのようなことを行っているのかを参考にでき、結果として各自が自クラブに戻り、その得た知識を使ってもらい、クラブを活性化することが目的となっております。

本日、パートIIを行ったわけですが、是非、皆様には、パートIからパートIIIまで受講終了し、卒後コースまで、研修を受けていただければ、ありがたいと思っております。RLIのディスカッションの方法としては、講義形式ではなく、



ファシリテーター(進行役)が各人に質問を投げかけ、それを答える形式で行います。そこでは、他のクラブの方々がおりますので、各クラブの違った運営の仕方を聞き、新しい発見をすることは、とても良い参考になると思いますし、一日受講すれば、たくさんのクラブの内容を聞くことになるわけですから、とても有意義な研修になっていると思います。今回も、皆様が、他クラブの内容を聞いて有意義な情報を自クラブに持ち帰りクラブの活性化ができることと信じています。

今回、参加していただいた方におかれましては、一日研修を受けていただきまして、ありがとうございました。また、是非とも、まだ受講されていないメンバーの皆様には、RLI研修に積極的に参加していただくことをお願いし、同時に我々と一緒にファシリテーター(進行役)にも興味を持っていただけるとありがたいです。よろしくお願いいたします。



RLI委員会ファシリテーター委員長
福 富 正 浩 (栃木RC)

Sequence

07 新入会員 / お知らせ

【新入会員紹介】



足利東 RC

(株) 栃木銀行 足利支店
支店長

香取 直道

(かとり なおみち) 2025.11.18入会

地域社会に貢献できるよう、誠心誠意取り組んで参りますので宜しくお願いします。



鹿沼 RC

(有) 長谷川鉄工所
専務取締役

長谷川 直輝

(はせがわ なおき) 2025.11.20入会

よろしくお願い致します。

地区内・外 主要行事予定

▶ 地区ホームページへ

送金カレンダー

▶ 地区ホームページへ

クラブ定例報告カレンダー

▶ 地区ホームページへ

例会場/事務所一覧

▶ 地区ホームページへ

地区組織図

▶ 地区ホームページへ

(公財)ロータリー米山記念奨学会ニュース

▶ 「ハイライトよねやま」へ

文庫通信

▶ ロータリー文庫へ



文庫通信 395号：会員研修 ロータリーについて 講演・月曜より

「What is Rotary? ガイガンディガーから学ぶロータリー 2025年4月増補改訂 13版」 鈴木一作/D.2840/71P

「新会員研修会資料」 大賀茂功/D.2700/ロータリー情報委員会/79P

「今、ロータリーを考える」 力根荘兵衛/D.2600 地区大会報告書/7P

「ロータリーの変化と行動」 野口英一/37P/7395-4

「わかりやすいロータリー財団テキスト」 D.2580 地区大会報告書/9P

「ロータリーの豆知識 月曜抜粋」 D.2530/17P

「私のロータリー」 土屋亮平/D.2790/4P

「慈愛の道をロータリーの「内良き華社」にも通こう」 小林博/D.2510/3P

PDFの閲覧には「ユーザー名」「パスワード」が必要です。ご不明の場合は、各事務所またはロータリー文庫にお問い合わせください。

〒1105-0013 東京都港区浜松町2丁目7番16号 第3小森谷ビル別館6階
TEL:03(3433)6456, FAX:03(3459)7506トップページへ
戻ります

Sequence

08 コーディネーターニュース



コーディネーター NEWS

2026年1月号 No.1

 発行：Region 1, 2 & 3
 RMC, RPIC, RRFC, E/MGA, EPNC
 行動計画推進リーダー
 国際大会推進チーム

第1地域 ロータリー財団地域コーディネーター補佐 新保 清久（新潟万代 RC）

第1地域ロータリー財団コーディネーター補佐の新保清久（第2560地区・新潟万代 RC）です。新井和雄 RRFC の補佐として職務を務めて半年過ぎましたが、地域リーダー会議やロータリー財団の委員長会議、ロータリー研究会、ロータリー財団地域セミナー等に参加して最新の情報を学んでまいりました。あらためてロータリーの発展には、ロータリー財団の拡充が欠かせないことを確認しました。

さて、年度初めに寄付金について新井 RRFC から会員に寄付の目標達成のお願いをするよりも、まずはロータリー財団のインパクトを伝えるように指示がありました。地区補助金やグローバル補助金を活用して地域や世界で実施するロータリーの奉仕活動は、寄付してくれた「あなたのおかげです」と会員にサンキューレターなどで感謝の意を表する活動を地区、クラブで広めるようにと指示を受けました。



近々に担当する4地区のロータリー財団委員長さんと会議を開催して、各地区のロータリー財団セミナーなどで寄付者にもっと感謝が伝わる取り組みと寄付金ゼロクラブゼロや寄付状況の確認等々情報交換をしたいと思います。併せて2013 年度から始まりました世界のポール・ハリス・ソサエティ（以下 PHS）の会員数は、会員全体の約2%にもかかわらず、年次寄付の22%、恒久基金を含めた財団寄付全体の20%を占めていることから PHS 会員の拡大に注力することやまた恒久基金の前年度の運用益が12%であり死んだ後でも財政的に社会貢献できる恒久基金への寄付を促すこと、DDF（地区財団活動資金）の繰越金は、地区の恒久基金として設立可能であること等も周知していきたいと思います。

小生は、今から30数年前にロータリークラブに入会した際に先輩からロータリー財団は、毎年100ドルを寄付すればよいと教えられたくらいの理解でしたが、図らずもガバナーになり、その後、地区ロータリー財団委員長に就任しまして、各クラブにもっと分かりやすく、身近なロータリー財団を目指して、委員会の人事や地区補助金の支給基準を見直しました。その効果は、地区補助金の申請件数が一挙に3倍になり、現在も約70%以上のクラブが地区補助金やグローバル補助金を申請して奉仕活動に活用しています。

また前年度に第2560地区では、地区補助金の申請・報告を電子システム化して申請フォーマットに記載することで補助金委員会ははじめ関係部署の負担を減らすことができました。情報の共有化と入力ミス、添付漏れの自動チェックにより経験のない会員でも正確に申請書・報告書の作成が可能となり作業時間が削減されて大いに効果を発揮しています。最後になりますが、時代に追いつき適応しようとしているロータリーを支えるロータリー財団の理解者、協力者をもっと増やすために様々な仕方があると思いますので関係各位のご教授をいただき任務を務めて参りたいと思いますので宜しくお願い申し上げます。

Rotary
Region 1, 2 & 3



コーディネーター
NEWS

2026年1月号 No.2

発行：Region 1, 2 & 3
RMC, RPIC, RRFC, E/MGA, EPNC
行動計画推進リーダー
国際大会推進チーム

笑いあり、涙あり「3つの手法」を熱演

第2地域 ロータリー会員増強コーディネーター補佐 樋口 明（神奈川 RC）

第2地域では、若林 英博 RMC が提唱された「3つの手法（戦略的オープン例会・衛星クラブの設立・クラブ独自の会員種）」の実践を強力に推し進めております。

1.戦略的オープン例会（ロータリーの友 2025 年8月号 P10,11 参照）：会員増強は総論だけでは机上の空論に過ぎず、緻密に計画しクラブ一丸となって取り組むという泥臭さこそ重要であります。戦略的オープン例会は、会員増強の面が強調されがちではありますが、実は会員維持の側面が強いものです。ゲスト（会員候補者）の情報を事前に共有し、会員全員が役割分担をしてゲストを温かく迎えるためには、クラブ全員で取り組まなければならない、それにより結束力が高まり、大いに盛り上がり、活性化に繋がることになります。



2.衛星クラブの設立：柔軟に参加しやすく自主的に運営ができることが、最大の魅力です。「元会員」、「会社の仲間」、「趣味の仲間」、「同窓生」、「地域の仲間」、「奉仕活動の仲間」など、さまざまなつながりから創ることができ、衛星クラブは、無限の可能性を秘めています。

3.クラブ独自の会員種別：心の底からロータリーが大好きな方に、手を差し伸べる仕組みです。「シニア」、「家族」、「Web」、「法人」、「準会員」、「ユース」など。常日頃より会員のことを第一に考えていれば、自然とアイデアが湧いてくるはずです。

皆様のご記憶に新しいことと思いますが、昨年11月19日、20日に横浜で開催されました【第54回ロータリー研究会】の第1セッション「もっと元気なクラブになろうー増減カーブを前年より上向きに」では、3つの手法を体現する寸劇をご披露しました。企画立案、シナリオ、キャスティング、演技指導等々、総監督である若林 RMC の思いが込められた名作でありました。迫真の演技をご披露くださいました俳優陣の皆様には、心より御礼申し上げます。

（写真左：白鳥敬日瑚 ARMC 写真右：黒川伸一 ARMC）



また、第3セッションの「退会防止とクラブの持続的成長」では、2024-27 年度 RI 会員増強委員会の岩澤あゆみ委員（RID2780 茅ヶ崎 RC）にご講演いただきました。

【ロータリーの未来は「居場所づくり」から始まる】

Connection Purpose Growth
心がつながるクラブは、会員が育ち、人が集まり、未来へと続く。

行動しなければ、何も変わりません。

まずは、やってみましょう！

トップページへ
戻ります



Rotary
Region 1, 2 & 3



コーディネーター
NEWS

2026年1月号 No.3

発行：Region 1, 2 & 3
RMC, RPIC, RRFC, E/MGA, EPNC
行動計画推進リーダー
国際大会推進チーム

謹賀新年

第3地域 ロータリー公共イメージコーディネーター補佐 谷 宗光(和泉 RC)

親愛なるロータリー会員のみなさま。

新年あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願い申し上げます。

私たちロータリー会員は、2026 年も四つのテストに照らし、

・真実かどうか・みんなに公平か・好意と友情を深めるか・みんなのためになるかどうかを
心にたずさえて、地域社会や世界のさまざまな問題解決のために、人道的奉仕活動を行い、
高い倫理基準の措置と、人間形成のために日々精進して参りましょう。



さて、私たちロータリー公共イメージコーディネーターチームでは、昨年10月の「世界ポリオデー」を前面にPRし、同時にロータリーの知名度向上のために、日本経済新聞(10月18日)に一面広告を掲載させて頂きました。

それと時を同じくして全国の各クラブ・各地区で、開催して頂いております、様々なイベント活動の記録にあたる「ポリオ根絶フォトコンテスト」の募集もさせて頂きました。ロータリーは長年にわたりポリオ(小児まひ)の根絶に対し支援して来ており、ワクチン提供や啓発活動を続けています。その活動の一コマの写真は、どの作品も、「見る人に感動を与え、ポリオ根絶への願いを伝える一枚」となっていました。その選考は、単なる集合写真ではなく「想い」「ストーリー性」「メッセージ性」を重視させて頂きました。

そして応募総数194件がエントリーされ、地域リーダーの皆様の厳正なる投票で、194件から8件を入選作とさせて頂き、その8件の中からRI会長賞、RI理事賞等の各賞を決定させて頂きました。

- ・RI会長賞 2790地区 富里 RC
- ・TRF 管理委員長賞 2820地区 水戸 RC
- ・RI理事賞-1 2690地区 松江南 RC 理事名:スーザン・ステンバーク
- ・RI理事賞-2 2500地区 釧路北 RC 理事名:サルバドール・リッツォ・ダバレス
- ・水野 RI 理事賞 2720地区 熊本中央 RC
- ・辰野 TRF 管理委員賞 2790地区 千葉西 RC
- ・四宮 RI 理事エレクト賞 2790地区 千葉 RC
- ・中谷 RI 理事エレクト賞 2820地区 北茨城 RC

応募いただきました皆様本当にありがとうございました。

今年も引き続き、この事業は行われる予定だと伺っておりますので、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

Sequence

09 2025年11月会員数報告

MyRotaryより（アルファベット順）

クラブ名	2025年7月1日 会員数	2025年7月1日 女性会員数	2025年11月30日 会員数
足利	24	2	24
足利東	40	4	41
足利わたらせ	27	0	30
足利西	12	0	12
馬頭小川	15	0	15
今市	40	0	41
今市きぬ	24	0	26
岩舟	8	0	8
鹿沼	56	1	59
鹿沼東	43	7	45
烏山	13	2	13
黒磯	32	3	34
葛生	38	0	39
益子	29	3	29
壬生	15	1	15
真岡	45	0	47
真岡西	39	5	38
日光	17	4	17
西那須野	43	3	43
大田原	18	2	19
大田原中央	16	1	16
小山	21	1	21
小山中央	24	2	24
小山東	22	0	21
小山北	26	0	25
小山南	16	2	16
佐野	46	0	48
佐野東	21	2	21
下野上三川	24	3	24
高根沢	10	1	10
田沼	44	0	44
栃木	43	6	44
栃木南	35	9	38
栃木西	28	0	29
氏家	27	3	31
宇都宮	95	4	98
宇都宮90	39	5	39
宇都宮東	96	0	97
宇都宮北	43	0	44
宇都宮さつき	22	5	22
宇都宮南	56	7	58
宇都宮西	65	0	67
宇都宮陽北	63	7	63
宇都宮陽南	18	5	19
宇都宮陽東	48	10	48
45RC	1526	110	1562
<RAC>			
足利東	4		4
足利大学	14		36
蔵の街とちぎ	5		5
作新学院大学	4		4
宇都宮東	5		5
文星芸術大学			13
国際医療福祉大学			11
7RAC	32		78

留意事項：データの更新は、RIが受領してからレポートに反映されるまで6～7日程かかる場合があります。

トップページへ
戻ります